

まだ間に合う！ ～期限せまる HPV ワクチンキャッチアップ公費接種～

滋賀大学保健管理センター 所長・教授 山本祐二

【HPV ワクチンと子宮頸がん予防】

子宮頸がんの95%は、ヒトパピローマウイルス (HPV) の子宮頸部への持続的な感染が原因です。日本では毎年約1万人の女性が子宮頸がんと診断され、年間約2,900人の女性が子宮頸がんによって死亡しています (1)。

【定期接種化と差し控え】

HPV ワクチンは2013年4月から小6～高1女子を対象に公費による定期接種が開始されましたが、有害事象との関連が疑われ同年6月に国から接種の「積極的な勧奨の差し控え」が通達されました。

【キャッチアップ接種】

HPV ワクチン接種の「積極的な勧奨の差し控え」は2023年3月末に終了しました。この差し控え期間に接種機会を逃した方に対して公費（無料）で接種機会を提供するのがキャッチアップ接種です。対象者は1997年4月2日～2008年4月1日*生まれの女性で、今の大学生の多くがこのキャッチアップ接種の対象です。実施期間は2022年4月1日から2025年3月31日までの3年間で、今年度は実施期間の最終年度となります (1)。

(*2024年4月に対象者が拡大されました)

【短縮スケジュール】

HPV ワクチンは現在2価、4価、9価の3種類がありますが、いずれも複数回接種が必要で、完了には通常6ヶ月が必要です。標準的な接種方法をとることができない場合、4価と9価ワクチンは最短4ヶ月で接種を完了できます (2, 図)。したがって2024年11月末までに初回接種を受ければ、無料期限内に3回の接種を全て完了することが出来ます。

【公費接種】

接種するには、住民票のある各自治体に確認してください。なお、滋賀県では県内の大学に通う学生や一般市民の方を対象に、滋賀医科大学医学部附属病院母子女性診療科に「HPV ワクチン接種特別枠」が設置され、希望者への接種を実施しています。

滋賀医大での HPV ワクチン接種予約
母子女性診療科外来：077-548-2576
予約時間：平日 14 時～17 時



【子宮頸がん検診】

ワクチン接種を受けた場合でも、完全に子宮頸がんを防げるわけではありません。20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受けることが大切です。

まとめ

- HPV ワクチンで子宮頸がんを予防しましょう
- キャッチアップ接種（公費）の対象者は1997年4月2日～2008年4月1日生まれの女性です
- 2024年11月末までに初回接種を受ければ、短縮スケジュールで無料期限内に接種完了可能です
- 接種後も子宮頸がん検診を受けましょう

【参照】(ウェブは2024年10月21日にアクセス)

1. 今村祐子. 子宮頸がん予防と HPV ワクチンキャッチアップ接種. SHR No. 98, p1. 2024.4.1
<https://www.shiga-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/SHR-No.98.pdf>
2. 厚生労働省. HPV ワクチンに関する10月以降の接種スケジュールについて. 2024. 10.16
<https://www.mhlw.go.jp/content/001317543.pdf>

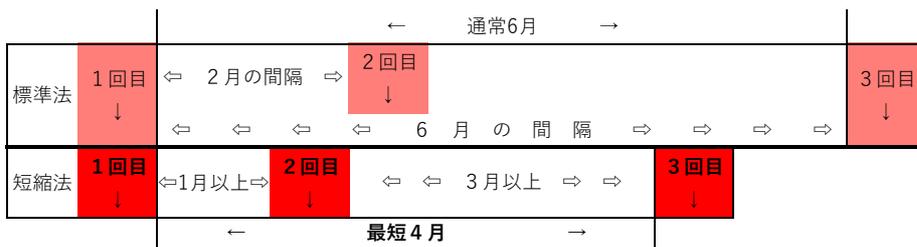


図. 4 価・9 価ワクチンの接種方法